

みんなで助かるために行動を…

～令和3年度 あすにはばたく集い～

11月2日（火）、今年度の「あすにはばたく集い（岡山県社会参加と自立・理解推進会議）」は、倉敷まきび支援学校をメイン会場に、そして県内各支援学校をサブ会場にして、Zoom でつないで実施されました。

「特別支援学校と地域が連携・協働した防災減災」と題した講演会は、災害が起こったときに備えて、いかに準備・心構えが大切かというお話でした。

講師は湯井恵美子（ぬくい えみこ）さん。湯井さんは、以前に本校でも防災をテーマに講演をしていただいた方で、ご自身も障がいのあるお子さんを持ち、防災士として防災・減災に取り組み、情報発信をされています。

湯井さんが「時間をおかず、すぐに行動を起こしましょう」と繰り返し言われていましたが、3年前に西日本豪雨で被災した真備町でお話されていると思うと、その言葉に一段と重みを感じるのです。



講演の前にストレッチや「認知体操」をして心と体をほぐしました。

参加されたみなさんは、メモを取るなどして熱心に聞いておられました。



講演会後の事業所説明会に登場された『ハーモニー』さんは、本校高等部の園芸班から購入した野菜を料理に使ってくださっています。そのことが「支援学校との連携」として紹介されました！